

eKEY・iBOX 取り扱い説明書



ご使用に関しての留意点

Copyright ©2011 UTC Fire&Security All Rights Reserved.

ご注意 この取り扱い説明書の内容は、事前の通知なく変更されることがあります。確認の際には所属するMLSにお尋ねください。

商標 Supra, eKEY, iBOXの商標はUTC Fire & Securityに属します。iPhoneの商標は日本とその他の各国のApple, Incに属します。

ご使用に関して eKEYを使用しiBOXにアクセスするには毎日の更新が必要です。使用料金や違約金等、支払い義務のある課金が期日内に納められていない場合、サービスのご使用や更新ができない場合があります。

使用に際しては以下のルールと当使用説明書内容並びに利用規約を遵守してください。eKEYの使用における個人情報管理や、フック解除コード、オープンコード等の管理責任は使用者に属します。ルール等が遵守されない場合、UTCFS、MLS-JAPANはこれらに関する一切の責任を負いません。

- ・eKEYは紛失、盗難等にあわないよう責任を持って管理してください。

- ・フック解除コード、オープンコード、使用認可コード等、使用者用に発行されているコードは、いかなる理由であっても第3者に開示しないでください。また、他人の目に付くメモに残すなどの不注意で第3者に知れてしまうことの無いよう責任を持って管理してください。

- ・いかなる理由があっても、eKEYを譲渡、貸与、賃貸、売買する等、所有者以外の第3者が所有者に帰属するeKEYを使用することがないよう管理してください。

- ・存知の如何にかかわらず、製品の一部または全部のコピーや編集を本人または第3者が行うことが無いよう管理してください。

- ・eKEYまたはiBOXの紛失、盗難があった場合、その旨を48時間以内に所属するMLSに連絡してください。

- ・iBOXを物件に設置する際には、事前に持ち主（売主）の許可を書面で取得してください。また、物件の施錠とiBOXの施錠が確実になされていることをeKEY使用者は責任を持って確認してください。使用者は、物件の持ち主（管理者を含む）に、iBOXはカギを安全に管理するためのものであり、防犯機器ではないことを確認してください。

目次

Chapter 1		4
概要		5
使用環境条件		5
eKEYソフトウェア		5
eKEYアダプター		5
セットアップ		6
ソフトウェアのインストール		6
eKEYの使用認可		7
Chapter 2		8
更新		9
手動更新		9
自動更新の停止		10
Chapter 3		11
iBOXへのアクセス		12
iBOXの開閉		12
物件カギの設置		13
アクセス時間		13
CBSコード		14
フック解除		14
フックの取り外し		15
iBOX一覧		15
iBOXの一覧追加		16
iBOXを一覧から削除する		17
データ取得		17
アクセス状況確認		18
iBOXの設定変更		18

CHAPTER 1 はじめに

チャプター1ではeKEYソフトウェアについての概要と、ご使用前のセットアップ方法について解説します。

概要

使用環境
eKEYソフトウェア
eKEYアダプター
MLS-JAPAN WEB

セットアップ

eKEYソフトウェアのインストール
eKEYの使用認可について

概要

物件に設置するiBOXへのアクセスには、eKEYソフトウェアをスマートフォンにダウンロードします。iPhoneを使用する場合はeKEYアダプターを装着する必要があります。

使用環境条件

- Android OS 2.1以上でBluetooth機能付スマートフォン
- iPhone 3G, 3GS または 4・OS 3.1.3 以上
- 通信業者との定額通信料金プラン契約
- iPhone用Supra eKEY アダプター(iOS使用時のみ)

eKEYソフトウェア

eKEYソフトウェアによって下記の作業が可能になります

- iBOXを開けて物件のカギを取り出す
- フック部分を解除し、物件にiBOXを設置する
- iBOXの一覧からiBOXの設定変更する
- iBOXのアクセス状況読み取り
- アクセス通知取得

eKEYアダプター

Supra eKEYアダプターをiPhoneに取り付けると、ソフトウェアと連動してiBOXへ赤外線信号を発します。

eKEYソフトウェアはスマートフォンの通信サービスを通じて、定期的にSupraのネットワークと交信します。この交信中にアクセス状況のデータをSupraネットワークに送り、eKEYソフトウェアの更新を行います。



セットアップ

スマートフォンへeKEYソフトウェアをインストールし、使用認可を行います。

ソフトウェアのインストール

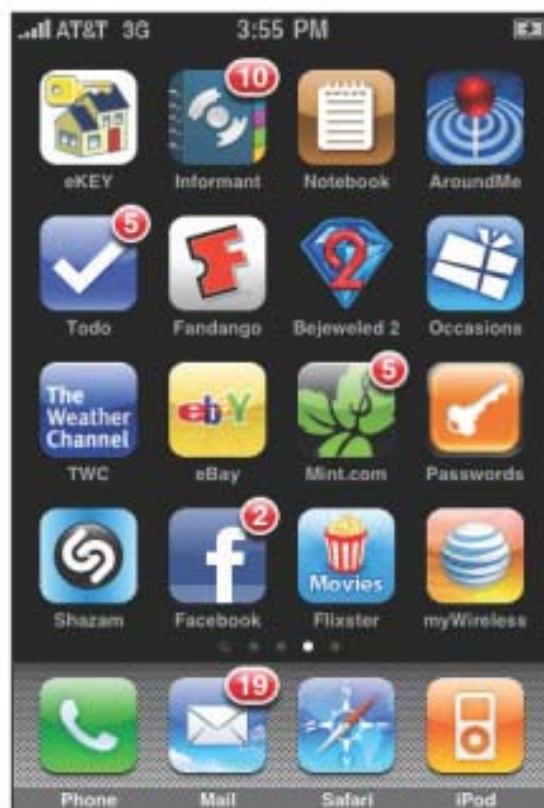
eKEYソフトウェアはiOSであればアップル社のApp Storeから、Androidであればアンドロイドマーケットからダウンロードします。

※アップル社のiTuneアカウント取得、またはアンドロイドマーケットのアカウント取得が必要です。

ソフトウェアをインストールする手順

1. iPhone画面でApp Storeのアイコンを選びます。アンドロイドの場合はアンドロイドマーケットを選んでください。
2. "Supra eKEY"を検索してください。
3. Supra eKEYのアプリケーションを選択します。
4. "無料"を選択し、続けて"インストール"を選択します。
5. アカウントのパスワードを入力し、OKをクリックします。

ソフトウェアが無事にインストールされると、eKEYのアイコンが画面に現れます。



eKEY使用認可

ソフトウェアがインストールされたら、実際に使用開始をする前に使用認可が必要です。認可には、使用者宛に発行された30桁の使用認可コードを入力します。使用認可コードは所属するMLSより発行されます。

使用登録をしていない方でも、eKEYデモ・モードを使用することができます（※デモ・モードでは実際にiBOXを開けたり更新を行うことはできません）

eKEYソフトウェアの使用認可手順

1. eKEYのアイコンを選択し、eKEYアプリケーションを起動します。
2. "eKEY起動"を選択してください。
3. 案内に従って、30桁の使用認可コードを入力してください。
4. "使用認可"を選択します。



CHAPTER 2 更新

このチャプターではeKEYソフトウェアの更新を説明します。

更新（アップデート）について

手動更新

自動更新の停止

更新

iBOXへアクセスするにはeKEYソフトウェアを更新する必要があります。

eKEYソフトウェアは毎日午後24時に使用期限が終了します。また、日の初めにeKEYアプリケーションを起動すると、スマートフォンのネットワーク通信を利用して自動更新を行います。

更新を行うには、ネットワーク圏内であることと、eKEYやiBOXに関する期限切れ未払い請求がないことが条件となります。

使用期限が切れている場合、eKEYソフトウェア画面の更新メニューに赤い×マークが付きます。



更新が行われなかった場合、オープンやフック解除等のメニューを使用することはできません。そのような場合は手動更新を行うか、緊急用コードを入力する必要があります。

手動更新

eKEYソフトウェアの使用期限が切れているときでも、スマートフォン通信ネットワーク圏内であれば手動で更新が可能です。

1. eKEYアイコンから、eKEYアプリケーションを開きます。
2. "更新"を選択します。
3. "更新する"を選択します。

自動更新の停止

自動更新は停止することができます。このオプションを使用する場合には、物件案内前に必ず更新を行って現地へ向かうようにしてください。

※自動更新の停止は推奨しません。

1. eKEYアイコンからeKEYアプリケーションを起動してください。
2. 設定を選択します。
3. 自動更新をオフにします。
4. ホームを選択してメインメニュー画面へ戻ります。



自動更新に加えて、eKEYソフトウェアはiBOXを開けた時とフック解除を行ったときにはその直後に自動で更新を行い、アクセス状況をSupraネットワークに送信します。※iPadなどの電話回線機能がない端末は手動更新が必要です。また、更新が行われるには通信ネットワーク圏内である必要があります。

CHAPTER 3 iBOXへのアクセス

このチャプターでは、iBOXへのアクセス方法とCBSコード、近隣のMLSが所有するiBOXへのアクセスについてご紹介します。

iBOX（キーボックス）へのアクセス

- eKEYアダプター

- iBOXの開け方

- 物件のカギ設置

- アクセス可能時間帯

- CBSコード

- 近隣のMLS

- フック解除

iBOX一覧

- iBOX一覧と詳細確認

- iBOXを一覧に追加

- iBOXを一覧から削除

- データ取得

- アクセス状況確認

- 設定変更

iBOXへのアクセス

eKEYソフトウェアを使用することで、以下の事項が可能になります。

- ボックス部位の開閉
- フック解除
- iBOXの設定変更
- iBOX内に記録されている使用状況確認

Supra eKEYアダプター

iPhoneを使ってiBOXへアクセスするには専用のeKEYアダプターが必要です。

iBOXと交信するときは、アダプターをiPhoneに接続してください。iBOXへの交信時以外はアダプターを接続しておく必要はありません。

アプリケーションの指示に従い、アダプターの赤外線レンズ部分をiBOXのレンズ部分（紫色の部位）に向けてください。

※アダプターとiBOX間の通信中は、それぞれの機器の間隔を30cm以内に保つようにしてください。また、直射日光は通信の妨げになることがありますので、日差しが強く通信が困難な場合は、手などで日光を遮ってください。



iBOXの開閉（iOSの場合）

物件の鍵を設置したり、内覧時にカギを取り出す手順は以下のとおりです。

1. eKEYのアイコンからアプリケーションを起動します。
2. "オープン"を選択します。
3. 暗証コードを入力します。
4. アダプターを接続し、"スタート"を選択します。（iOSの場合）
5. アダプターの赤外線送受信レンズ部分をiBOXのレンズへ向けます。

※Androidの場合、専用アダプターは必要ありませんが、上記手順5の前にiBOXの底部を一度押し上げ、Bluetoothのスイッチを入れてください。スイッチが入るとレンズ部分が赤く点滅します。なお、レンズ部分が赤く点滅している間は赤外線による更新（アダプター装着時）はできません。通信が行われない場合、点滅は30秒で自動的に終了し、赤外線受信待機状態に切り替わります。



6. 通信が成功したら、iBOXの底部を一度奥に押し込みボックス部分を取り外します。取り外さずに放置すると30秒後に自動でロックがかかります。

ボックス部分へのアクセス直後にネットワークへ情報を送信します。

物件カギの設置

ボックス部分を閉じる前に、内部にカギが入っていること、カギが突き掛かったり、はみ出したりしていないことを十分に確認してください。また、物件管理業者はiBOXにカギを設置する前に、スペアキーを別管理し所持していることを必ず確認してください。

注意：名刺やカギについているリング、またその他カギ以外のものをiBOX内部に入れないでください。ボックス部分が詰まって開かなくなることがあります。

ボックス部分を閉じるときには、カギが収納される部分がiBOXの表側になるようにします。ボックス部分をiBOX底部から挿入し、しっかり閉まるまで押し上げてください。

アクセス時間

iBOXへのアクセス可能時間帯は、24時間または設定する時間にプログラムすることができます。iBOXのアクセス基本設定時間帯に関しては、所属するMLSに問い合わせてください。

設定時間帯は平日、土曜、日曜ごとに変更が可能です。詳しくは18ページiBOXの設定変更をご参照ください。

CBSコード

CBSはCALL BEFORE SHOWINGの略で、物件を案内する前に管理者に電話連絡を入れることを意味します。その際に管理者からCBSコードを入手します。CBS設定されているiBOXにアクセスするには、eKEYにCBSコードを入力する必要があります。**CBS設定は居住中の物件以外では無効にしてください。**

CBS設定されているiBOXにアクセスするには、初めに通常通り暗証コードを入力します。CBSコード入力を求める画面が出てきますので、管理業者から入手したCBSコードを入力してください。

全てのiBOXにCBS機能が付いていますが、基本設定では無効になっています。

CBSコード入力、CBS設定されているiBOXへアクセスする際に毎回入力が必要です。

CBSコードの可否に関しては直接管理業者にお問い合わせください。



フック解除 (iOSの場合)

全てのiBOXには4桁のフック解除用コードが設定されています。

フック部分解除の手順

1. eKEYを起動させます。
2. "フック解除"を選択します。
3. フック解除コードを入力します。
4. iPhoneにeKEYアダプターを接続し、"スタート"で交信開始。
5. eKEYアダプターの赤外線送受信レンズをiBOXのレンズ部分に向け
ます。**※Androidの場合、オープン時と同様に専用アダプターは
必要ありませんが、上記手順5の前にiBOXの底部を一度押し上げ、
Bluetoothのスイッチを入れてください。スイッチが入るとレンズが
赤く点滅します。通信が行われない場合、点滅は30秒で自動的に終了
し、赤外線受信待機状態に切り替わります。**



6. 無事通信が終了すると、フックが解除され、iBOXのバッテリー残量が表示されます。iBOXのフック部分を一度下に押し下げるとフックが持ち上がり、はずれます。

iBOXのフックを解除すると、iBOXを一覧に追加するかを尋ねられます。一覧に追加すると、キーボックスの詳細を確認する画面に移動します。フック解除後、通信ネットワークを介してiBOXの情報を送信します。

iBOX一覧

eKEYのホーム画面にあるiBOX一覧から、登録してあるキーボックスの確認や、設定変更が可能です。

iBOXの一覧と詳細確認

1. eKEYのアプリケーションを起動します。
2. "iBOX一覧"を選択します。
3. キーボックスのリストが表示されます。ID番号を設定してある場合はID番号が製品番号の上にボールド体で表示されます。
4. リストからキーボックスを選択すると詳細が表示されます。



一覧にiBOXを追加する

iBOXを一覧に追加することで、アクセス通知をリアルタイムで受信し、iBOXの設定変更が可能になります。一覧に追加するには手元にiBOXが必要です。

一覧追加のチェックを外さない限り、フック解除時にキーボックスは自動的に一覧へ追加されます。

キーボックスを一覧に追加するには：

1. eKEYアプリケーションを起動します。
2. "iBOX追加"を選択します。
3. 追加するiBOXのフック解除コードを入力します。



4. eKEYアダプターを接続して交信を開始します。(iOSの場合)
5. アダプターの赤外線レンズをiBOXのレンズに向けます。
6. 完了を選択して詳細画面に戻ります。

※Androidの場合、専用アダプターは必要ありませんが、上記手順5の前にiBOXの底部を一度押し上げ、Bluetoothのスイッチを入れてください。スイッチが入るとレンズ部分が赤く点滅します。

iBOXを一覧から削除する

一覧からiBOXを削除する手順は：

1. eKEYアプリケーションを起動します。
2. "iBOX一覧"を選択します。
3. 削除したいiBOXをリストから選択します。
4. 削除を選択します。



5. "はい"を選択します。

データ取得

iBOXはボックス部分へのアクセスを記録します。記録内容はアクセスのあった日時、エージェントの氏名、eKEY番号と電話番号です。読み取ったiBOXに記録されているアクセス状況は、スマートフォンで確認できます。

iBOXからアクセス状況を読み取る手順：

1. eKEYアプリケーションを起動します。
2. "データ取得"を選択します。
3. フック解除コードを入力します。
4. アダプターを接続し(iOSの場合のみ)、交信を開始します。
5. アダプターの赤外線レンズをiBOXのレンズに向けます。iBOXに記録されている情報が転送されます。アクセス数が表示されますので"完了"を選択し、アクセス状況の確認画面へ移動します。
7. アクセス状況から詳細を確認できます。
8. 電話番号を選択することで通話できます。(※iPhone使用時のみ)

※イメージ



※イメージ



アクセス状況確認

iBOXからアクセス状況の読み取りが完了すると、iPhone画面で確認ができます。

1. eKEYアプリケーションを起動します。
2. "iBOX一覧"を選択します。
3. リストから確認したいiBOXを選択します。
4. "アクセス記録"を選択します。
5. アクセス一覧から詳細を確認します。

iBOXの設定変更

一覧にあるiBOXにプログラムされている設定は変更可能です。変更内容を登録するためにはiBOXが手元に必要です。

1. eKEYアプリケーションを起動します。
2. "iBOX一覧"を選択します。
3. 設定変更したいキーボックスを選択し、現在の設定を確認します。もし変更したいキーボックスが見つからない場合は、16ページiBOXの一覧追加をご参照ください。
4. 変更したい設定を選択し、変更作業を行います。

5. "プログラム"を選択します。
6. フック解除コードを入力します。フック解除コードの設定変更を行う場合は、ここでは変更前のコードを入力してください。設定登録完了後、新しいコードに変わります。
7. eKEYアダプターを接続し（iOSの場合のみ）、通信を開始します。
8. 上書きが終了すると、最新の設定状況が画面に表示されます。

